

競技要項

1. 試合方法・試合時間

- 2023年度後期大会の結果による入れ替えを行った上で、Div I～Ⅲにグループ分けする。各ディビジョンにて総当たり戦を行い、第2項に定める順位決定方法に従い順位を決定する。
- 試合時間は、次の通りとする。
全試合とも正規 15分×3ピリオド、練習 5分間、休憩 3分間とする。
貸切終了時刻 2分前で打ち切りとする。
- 各チーム 1回のタイムアウトを取得できる。

2. リーグ戦順位決定方法

リーグ戦においては、勝ちを 3点、引き分けを 1点とし勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点が並んだ場合は、以下 1)～7) の条件順で順位を決定する。

- 1) 勝ち数の多い順
- 2) 当該チームの対戦成績
- 3) 当該チーム同士の試合で得失点差の大なるもの
- 4) 当該チーム同士の得点の大なるもの
- 5) 全試合の得失点差の大なるもの
- 6) 全試合の得点の大なるもの
- 7) 2023年度のランキング上位であるもの

3. 競技規則

東京都アイスホッケー連盟の定める補助規則（第4項）を除いて、原則として最新の国際競技規則による。

4. 補助規則

4-1) 棄権

試合を棄権するチームは、試合前日の 17時までにその理由を運営委員まで電子メールにて届ける事。

宛先：entry@tihf-senior.com

棄権したチームは 0:15 の不戦敗となり、大会要項のキャンセル規定に定められた試合費を負担するものとする。

4-2) 連盟未登録選手が出場した場合、その試合を没収試合とし、当該チームを 0:15 の不戦敗とする。
(当該チームには、連盟懲戒委員会にて審議し、処分を科す)

4-3) 同一年度内の移籍は、これを認めない。同一年度内に一旦他道府県連盟に登録した後、東京都連盟の再登録についても、これを認めない。

4-4) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。(発覚次第退場とする) 当該選手がポイント(ゴール・アシスト)をあげても無効となる。
当該選手がペナルティをおかした場合は代替選手がそのペナルティを受けるものとし、当該選手は退場とする。(背番号だけの間違いは発覚次第直ちに修正すること。ポイントは認められ、出場可能。)

4-5) 試合の実施は試合開始時までにはゴールキーパー1名とプレーヤー5名若しくはプレーヤー6名、第2ピリオド開始までにキーパー1名とプレーヤー5名をミニマムとし、それ以下の選手数のチームは棄権したとみなし不戦敗とする。(キーパーが試合開始までにリンク上に居ない場合はプレーヤー6名で開始し、第2ピリオド開始時にリンク上に居なければ不戦敗とする。) 怪我やゲームアウト等で最低人数を下回った場合は、その時点で不戦敗とする。
また、両チームが人数不足の場合は、両チームとも-15点とし、両チーム不戦敗とする。

4-6) 当番ラインズパーソン

オンアイスオフィシャルについて、原則レフェリー委員会よりレフェリー(1名)・ラインズパーソン(1名)を派遣し、当番チーム(「当番2」のチーム)より、**登録済みかつ大会前に実施されるクリニックに出席したラインズパーソン1名を出す。**

4-7) オフアイスオフィシャル

当番チームは、オフアイスオフィシャルとして下表の役割を定められた人数(計8名)で務める。

役割	人数	担当チーム
ペナルティーベンチアテンダント	2名	当番2
ゴールジャッジ(ショットカウントを兼任)	2名	
タイムキーパー	1名	当番1
ペナルティタイムキーパー	1名	
アナウンサー	1名	
スコアキーパー(記録)	1名	

オフィシャルを務める際の注意点

- ・ 集合時間は練習開始時間の20分前
- ・ 各当番チームの最低1名はチームに所属する選手・スタッフが務める。
- ・ 当番欠席により試合ができなかった場合、または当番の人数不足が認められた場合・遅刻の場合は別に定める罰金を支払うこと。当番の欠席・人数不足・遅刻があった場合、その旨を電子メールにて下記アドレスまで届け出ること（アドレス：entry@tihf-senior.com）

4-8) ベンチ入りできる最大人数は25名とする。（選手:22名、スタッフ:3名）

4-9) ゲームミスコンダクトペナルティ以上のペナルティに関しては、連盟のガイドラインに沿って処分を科す。

4-10) リンク内ではつばを吐く行為を禁ずる。当該行為が認められた場合はゲームミスコンダクトペナルティを科し、連盟のガイドラインに沿って処分を科す。

4-11) ユニフォーム

- ・ ユニフォーム・ストッキングを統一すること。
- ・ 背ネームは姓のみ可、ニックネーム等は不可。
- ・ 背ネームを隠す場合、同色系の布を縫い付け、試合中にはがれないようにすること。
また、ユニフォームにおけるCマーク・Aマークのビニールテープでの作成・貼り付けは禁止する。
- ・ グローブ、ヘルメット以外の用具は完全にユニフォームの下に着用する。ユニフォームはタイダウンストラップでパンツと密着させ、パンツから必ず出して着用する。ユニフォームがめくられてパンツから出ていない場合の注意は、1回目はチームに対して行う。2回目の注意からは、マイナーペナルティを科す。
- ・ ユニフォームはホーム用、ビジター用の2色を用意すること。（ただし、努力義務とする）

4-12) 全選手が必ずマウスガード、およびバイザー（フルフェイスマスクを含む）を装着するものとする。首・のど用プロテクター（ネックガード）については、着用を強く推奨する。

4-13) 2004年1月1日以降に生まれた選手は、ネックガード、イヤガード、フルフェイスマスクを着用しなければならない。該当する選手は、オールメンバー表のチェック欄に記入して提出する。

4-14) ランニングタイム

7点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムについては、ランニングタイムとする。

- ① 点差が縮まった場合でもランニングタイムは継続する。
- ② 次の場合は時計を一旦止める
 - a) 得点時（レフェリーが本部に報告し、電光掲示板入力が確認され次第直ちにスタートする）
 - b) 反則発生時（次のフェイスオフでパックがドロップ後スタートする）
 - c) レフェリーの指示があったときに統計を止める。次のフェイスオフでスタートさせる。
 - d) タイムアウト（アナウンスと同時に止め、終了ブザーと同時にスタートする）
- ③ ペナルティ時間終了時にプレーが止まっていた場合、ペナルティボックス内の選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティボックスから出てはならない。

4-15) ボディーチェックングは禁止とし、違反した者にはマイナーペナルティを科す。

4-16) 同一の試合において累積で3回のペナルティを科された選手は、その試合の残り時間を退場となる。当該ペナルティは代行選手により遂行される。また、ダブルマイナーペナルティは2回のペナルティ、ミスコンダクトペナルティは1回のペナルティとみなす。ただし、ペナルティが失点によりウォッシュアウトされた場合はペナルティ回数に含まない。

ただし、ゴールキーパーのディレイオブザゲームについてはカウント対象外とする。

当番1のスコア担当者は、累積で3回のペナルティを科された選手が退場していることを確認する。

罰則) 監督会議・レフェリークリニック・当番に遅刻・欠席及び試合を棄権・未登録選手の出場及び連盟規約違反をした場合、罰金より無期限試合出場停止迄の罰則を課す。

5. 試合結果報告

各試合について、当該チームと当番チーム（計4チーム）はそれぞれ個別に、下記都連HPのスコア報告サイトに連絡をすること。（試合終了後現場から携帯電話・スマートフォン等で送信すること）

スコア報告サイト	http://tihf.jp/prpi.php 
アクセス ID	tihf

(正確を期するために必ず 4 チームからの結果連絡をお願いします。)